



青森県町村議会議長会 第73回定期総会

もくじ—Contents—

令和5年第1回定例会

補正予算・条例などの議案 ……	2~5	委員会だより ……	11
予算特別委員会 ……	6~7	議会の動き ……	12
議員による一般質問 ……	8~10		

補正予算

(千円)

会計	補正額	補正後総額
一般会計補正予算 第14～16号	合計 3億7,027万5千円	104億2,978万7千円
国民健康保険特別会計 補正予算第4号	(事業勘定) 1,658万4千円	(事業勘定) 17億788万1千円
	(施設勘定) △192万円	(施設勘定) 1億5,433万円
介護保険事業特別会計 補正予算第3号	△339万1千円	18億5,556万2千円
農業集落排水事業特別会計 補正予算第2号	※内部補正 0円	4,359万3千円
漁業集落排水事業特別会計 補正予算第2号	△160万円	2,420万7千円
後期高齢者医療特別会計 補正予算第1号	△819万7千円	2億8,367万8千円
水道事業 特別会計補正予算第3号	(支出) 2万7千円	(支出) 2億9,983万9千円

主な補正予算

町道除雪委託料

不足した除雪費にかかる委託料。

合計 7,400万円

観光案内板設置

大雨被害を受けた復興支援事業として看板の設置、更新等。

4,348万7千円

中泊町一般廃棄物 最終処分場復旧工事

大雨被害を受けた中泊町一般廃棄物最終処分場復旧工事にかかる経費等。

7,232万5千円

被災事業者 持続化支援金

大雨被害を受けた事業者の修繕等にかかる経費の支援金。

1,350万円

3月 定例会

〈会期日程〉

- 3月2日
開会・町長提案理由説明
- 3月3日～3月5日
休会・議案熟考
- 3月6日
一般質問
- 3月7日～3月8日
予算特別委員会
- 3月9日
単行案審議・閉会

令和5年第1回定例会が3月2日に開会しました。3月6日には一般質問が行われ、3人の議員が質問しました。3月7日と8日は、令和5年度の各会計予算案を、議員全員で構成する予算特別委員会で審議しました。3月9日には、議案の審議が行われ、報告3件、補正予算や条例改正などの議案43件の全てが原案のとおり可決、承認、同意されました。

条例など

■中泊町個人情報保護法施行条例の制定について

個人情報の保護に関する法律の改正に基づき、条例を制定するもの。

■中泊町個人情報保護審査会条例の制定について

個人情報の保護に関する法律の改正に基づき、条例を制定するもの。

■中泊町課設置条例の一部改正について

令和5年度から「税務課」と「会計課」を統合して新たに「税務会計課」を設置するため、所用の改正をするもの。

■中泊町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について

個人番号カードを利用し、コンビニエンスストア等に設置されている多機能端末機から印鑑登録証明書の交付を受けることを可能にすること及び窓口においても個人番号カードを使用して印鑑登録証明書の交付を受けることを可能とするため、条例の一部を改正するもの。

■中泊町手数料徴収条例の一部改正について

個人番号カードを利用し、コンビニエンスストア等に設置されている多機能端末機から戸籍謄抄本・戸籍の附票・所得課税証明書の交付を受けることが可能になることに伴い、コンビニ交付にかかる手数料を定めるため、条例の一部を改正するもの。

■中泊町国民健康保険条例の一部改正について

健康保険法施行令等の一部を改正する政令が施行されたことに伴い、条例の一部を改正するもの。

■中泊町子ども・子育て会議条例の一部改正について

子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、条文の整備をするもの。

■中泊町企業支援施設の設置に関する条例の一部改正について

今後の町の新たな雇用創出や産業の発展を目的に、施設使用者の固定化を防ぎ、様々な企業等による施設の利活用を図る観点から、施設の使用期間及び使用者の公募について定めるため、条例の一部を改正するもの。

■中泊町道路占用料徴収条例の一部改正について

道路法の一部を改正する法律の施行に伴い、条例を改正するもの。

■中泊町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について

消防団員の年額報酬を引き上げることから、条例の一部を改正するもの。

■中泊町子育て支援金条例の廃止について

国の出産・子育て応援給付金支給の事業実施に伴い、条例を廃止するもの。

■中泊町生産物直売所条例の廃止について

当該直売所は、中泊町の特産品の販路拡大を図り、地域の就業の場を形成することを目的として設置されたものであり、これまで朝市や活ハマまつり等の開催で限定的に使用されてきたが、今後は用途の拡大を図り、有効的な利用を促進したいため、条例を廃止するもの。

人事案件

■中泊町固定資産評価審査委員会委員の選任について

現委員の佐藤恭一氏、阿部二郎氏、佐藤るり子氏の任期が令和5年5月16日で満了となるため、後任の委員として3名を再任するにあたって、議会の同意を求めるもの。

■中泊町教育委員会教育長の任命について

現教育長の鈴木信也氏の任期が令和5年6月12日で満了となるため、後任の教育長として同氏を再任するにあたって、議会の同意を求めるもの。

■中泊町教育委員会委員の任命について

現委員の東山綾子氏の任期が令和5年5月17日で満了となるため、後任の委員として同氏を再任するにあたって、議会の同意を求めるもの。

■人権擁護委員候補者の推薦について意見を求めるの件

現委員の鳴海晃氏の任期が令和5年6月30日で満了となるため、後任の委員として同氏を推薦するにあたって、議会の意見を求めるもの。

指定管理

■中泊町徐福の里物産品直売所に係る指定管理者の指定について

令和5年4月1日から指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるもの。
指定管理者となる団体：小泊観光協会 会長 川山光則 期間：3年

■中泊町基幹集落センターに係る指定管理者の指定について

令和5年4月1日から指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるもの。
指定管理者となる団体：小泊漁業協同組合 会長 成田直人 期間：3年

■中泊町折腰内オートキャンプ場に係る指定管理者の指定について

令和5年4月1日から指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるもの。
指定管理者となる団体：(株)小泊うみどりーむ振興社 代表取締役 葛西徳男 期間：3年

■中泊町すくすくこども館に係る指定管理者の指定について

令和5年4月1日から指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるもの。
指定管理者となる団体：(株)小泊うみどりーむ振興社 代表取締役 葛西徳男 期間：3年

■中泊町折腰内交流施設に係る指定管理者の指定について

令和5年4月1日から指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるもの。
指定管理者となる団体：(株)ヤマカ 代表取締役 加藤拓美 期間：3年

■中泊町高齢者生活福祉センターに係る指定管理者の指定について

令和5年4月1日から指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるもの。
指定管理者となる団体：(福)中泊町社会福祉協議会 会長 秋元良一 期間：3年

その他の案件

■青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び青森県市町村総合事務組合の規約の変更について

組合を組織する団体の増加に伴い、規約の改正について報告するもの。

■負担付きの贈与の受納について

旧青森県立中里高等学校について、土地・建物等譲与仮契約を締結したため、これを受け入れるにあたり議会の議決を求めるもの。

■町有財産の無償貸付けについて

令和5年4月1日から小泊地域で保育施設を運営する社会福祉法人みちのく会に対し、旧小泊保育所の土地及び建物を無償貸し付けするにあたり、議会の議決を求めるもの。

議会提出案件

■中泊町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について

個人情報保護法の改正に伴い、必要な事項を定める必要があることから、条例を制定するもの。

■中泊町議会委員会条例の一部改正について

「税務課」と「会計課」を統合して新たに「税務会計課」が設置されることから、所要の改正をするもの。

■議員派遣について

中泊町議会会議規則の規定により、必要と認められるときに議員を派遣できるようにするもの。

傍聴席は、あなたの席です!!

令和5年第2回中泊町議会定例会は6月上旬です。会議は原則、公開されており、どなたでも傍聴ができます。皆さんの傍聴をお待ちしております。

令和5年第1回定例会の傍聴は7名でした。

※耳が不自由な方にはイヤホンをお貸しします。遠慮なくお申し出ください。

※議場は車椅子での入場が可能で、専用の傍聴スペースがあります。

～新型コロナウイルス感染症まん延防止にご協力ください～

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴される方には次のことをお願いしています。

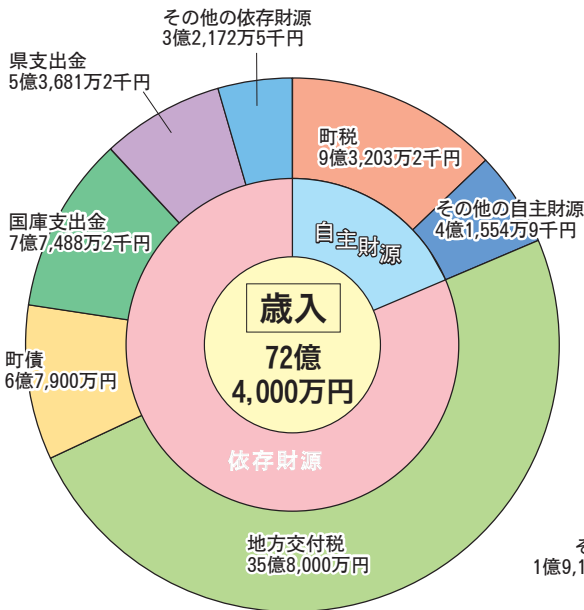
- ・発熱があるなどの体調不良の方の入場はお断りします。
- ・入場時には検温をし、37.5度以上ある方のお断りします。
- ・入場時には手指消毒をお願いします。



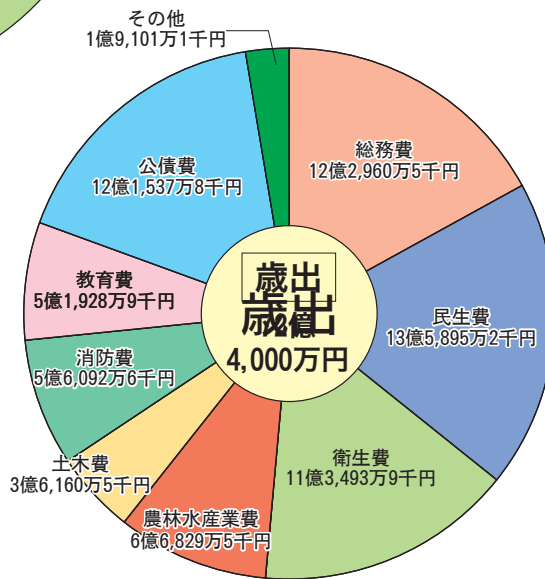
4,000万円

予算特別委

一般会計当初予算



令和5年3月7日から8日までの2日、全議員で構成する予算特別委員会が設置され、令和5年度の各会計の審議が行われました。委員長には兵庫桂蔵委員、副委員長には田中洋委員が就任しました。委員7日は各特別会計が、8日には一般会計が審議され、全会一致で採択すべきものとして決定されました。



期待!

武田・中里地区 循環バス運行事業

1,165万2千円

武田・中高線バスに代わって、令和5年4月1日から運行するバスの費用。



出発式の様子

予算特別委員会 日程

- 3月7日
各特別会計の審議
- 3月8日
一般会計の審議

一般会計 72億

特別会計当初予算

		当初予算額	前年度比
国民健康保険特別会計(事業勘定)		15億5,435万8千円	△3.68%
国民健康保険特別会計(施設勘定)		1億4,837万1千円	△2.96%
介護保険事業特別会計		18億1,358万3千円	0.4%
農業集落排水事業特別会計		4,818万3千円	12.8%
漁業集落排水事業特別会計		3,130万8千円	24.9%
後期高齢者医療特別会計		2億9,499万5千円	1.07%
水道事業特別会計	収益的収入	3億3,536万7千円	△0.03%
	収益的支出	3億328万8千円	0.03%
	資本的支出	1億9,314万6千円	△0.15%

注目!!

農産物等加工品等 促進事業

200万円

町内の農林水産物を主な原料とした新たな加工品等を開発・販売する経費への補助金。

チェック

兼任集落支援員 設置事業

1,258万3千円

引き続き地域の課題解決を図る兼任集落支援員の活動にかかる費用が計上されている。



鈴木 長一郎 議員

地域の実情に根ざした 除排雪の実施と 実施の判断基準は！



に出動することとしている。

町長 現在の除排雪体制について
は、各工区の受託業者が積雪
状況をパトロールにより把握し、概
ね10 cm以上の積雪時、もしくは、降
雪が継続する事が予想されるなど、
交通に支障をきたすと判断した場合

議員 町の除排雪事業について、
どのくらいの降雪で実施し
ているのか。また、作業実施の
判断を委託業者ごとではなく町
職員主体でできるように体制を
変えるべきと思うが、町として
の考え方を伺う。

そのほか、気温上昇時の道路状況
変化などにより、町からの指示があ
った場合も出動することとなってい
る。
これまで、除排雪のタイミングに
ついては議員各位からもご指摘を頂
戴しているところであるが、町とし
ても、各地区にお願している集落
支援員からの情報など現地情報に基
づいた出動指示が出せないかなど、
効率的な除雪体制について検討して
いく。



議会中継は初日から最終日までインターネット配信しています。

インターネットの視聴は

<http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm>

でご覧になれます。



←こちらからも
アクセス
できます

役場・パルナス・小泊支所・すくすくしたまえ館ロビーにも
中継されています。ぜひ、ご利用ください。

また、議会会議録もHPで閲覧できます。平成31年第1回中泊町議会定例
会より会議録が掲載されています。閲覧の方法は、中泊町役場ホームペー
ジ → 議会 → 会議録 となります。





成田 直人 議員

昨年8月の大雨災害を受けて 危険箇所への総合的な対策と 被災箇所への復旧の見通しは！

議員

入舟地区は過去の台風などでも洪水状態となっていたため地域住民も最も懸念し、また住宅も連なっている危険箇所であるが、河川部と上流山間部一帯の総合的な整備計画はあるのか伺う。

町長

昨年8月の大雨の時は勿論、これまでも幾度となく出水による被害が確認されてきたと承知している。

このことから、町としては雨量が多いと予想された時には事前に土嚢を積むなどの対策を講じ減災に努めながら、地形から来る災害であるとの認識から上流部における砂防ダム建設について県と協議を続けてきたところである。

結果として、県が令和元年度から上流部の嗽沢地区に通常砂防事業による砂防ダム建設が始まり、これまでに、地形測量や地質調査が行われてきた。今年度は、用地買収も始まり、令和5年度からは本体工事にも着手する予定と伺っている。

明確な完成時期は示されていないものの、砂防ダムが完成した後には、これまでの様な土砂・流木による被害は大幅に減少するものと期待している。

議員

下前地区の町道並びに県道は、大きな被害を受け、通行に支障を来しているため、地区住民をはじめとする早期復旧の声が多数ある中、復旧の見通しについて伺う。

環境整備課長

まず町道について、下前海岸2号線は現在、橋脚部分の撤去工事を施工しており、3月25日までの工期となっております。その後は、本復旧工事を7月までに入札で執行する予定となっております。令和5年12月末までには完成したいと考えています。

次に、県で管理している県道権現崎線は、県では3月末の入札を予定しており、令和5年度内の完成予定と伺っている。この県道については、大規模斜面の崩落や路肩崩落箇所な

ど4工区に分かれており、工事用車両等の通行にも制限が掛かるため、工事期間中は通行止めです施工すると伺っている。昨年8月の豪雨以来、通行止めが続いており、大変ご不便をお掛けしているが、早期の復旧に向けて町でも県に働きかけていく。



令和4年8月3日大雨の様子(小泊地域入船地区)

教職員の長時間労働と 部活動指導の負担増を 町はどう捉えるか！



塚本 悦子 議員

議員

長時間労働と部活動指導の負担増が、広く問題として取り上げられているが、中泊町の現状把握と教育委員会としての役割をどのように捉えているか。

教育長

現在、「学校における働き方改革」は、全国的に進められており、当町も文部科学省、青森県教育委員会の施策を受け、学校現場と連携して取り組んでいる。

働き方改革の目指すところは、教職員の負担を軽減し、長時間勤務の是正を図ることで、教職員がワーク・ライフ・バランスの取れた生活を実現し、健康でやりがいをもって働くことや、教職員が子どもと向き合える時間を十分に確保し、学校教育の質を維持・向上させることにある。

当町の現状としては、原則、パソコンを活用し、管理職が教職員の勤務の実態を把握している。

小学校においては、長時間労働になっている職員はほぼ見られないが、中学校においては、主任及び部活動

主顧問となっている教員が、部活動の大会やコンクールが近いシーズンには、長時間労働になりやすい傾向が見られる。いずれにしましても、管理職が月ごとに教職員の勤務の実態を把握し、指導・助言を行い、超過勤務の解消に努めている。

また、学校単位での週1回以上の「NO残業デー」の設定のほか、小学校では学校全体での退勤時刻（18時）の設定、中学校では部活動を行わず生徒が一斉下校する日の設定など、働き方改革に努めている。

教育委員会としては、令和元年10月には「部活動の在り方に関する方針」で部活動による長時間労働の見直しを図り、令和2年10月には「学校における働き方改革プラン」で町



教育委員会の取り組みや方向性を示したところである。

さらに、令和4年6月には「教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則」を制定して、教育職員の健康及び福祉の確保の観点から業務量の上限などを定めている。

なお、具体的な取り組みとしては、学校閉庁日（夏休み3日、冬休み1日）の設置、休日の緊急時の連絡窓口を教育委員会へ変更、学校での手集金を口座集金に変えるなど、教職員の負担軽減に努めている。また、次年度は町独自策として、会計年度任用職員として特別支援教育支援員を1名配置する予定である。さらに、令和5年度から3年をかけて中学校部活動の地域移行への検討や学校事務のより一層の簡素化のために、広域での校務支援システムの導入を検討しているところである。

今後も、「働き方改革」を推進していくことは、当町の教育のさらなる充実につながると考え、教育委員会としては、しっかりと取り組んで参りたいと考えている。

議会運営委員会 (委員長 野上 憲幸)

○令和5年2月2日(木)

第1回議会運営委員会

〈案 件〉

- (1) 令和5年第1回中泊町議会定例会会期日程及び議会運営に関する事項について
- (2) その他

○令和5年2月22日(水)

第2回議会運営委員会

〈案 件〉

- (1) 一般質問について
- (2) 提出議案について
- (3) その他



議会運営委員会の様子

広報委員会 (委員長 成田 直人)

○令和5年1月26日(木)

第1回広報委員会

〈案 件〉

- (1) 議会ガイド第71号(案)について
- (2) その他



広報委員会の様子

1月

16日 第1回中泊町議会臨時会
26日 中泊町議会広報委員会

2日 中泊町議会議会運営委員会

10日 西北津軽郡町議会議長会
議長・事務局長会議

10日 五所川原地区消防事務組合議会
第1回臨時会

第1回臨時会

14日 中泊町国民健康保険運営協議会

2月

19日 中泊町教育文化賞・スポーツ賞授与式

22日 中泊町議会議会運営委員会

27日 青森県町村議会議長会
第73回定期総会

第73回定期総会

29日 西北五広域福祉事務組合議会
第1回定例会

第1回定例会

3月

2日 第1回中泊町議会会例会(開会)

6日 第1回中泊町議会会例会(一般質問)

7日 予算特別委員会(特別会計)

8日 予算特別委員会(一般会計)

9日 第1回中泊町議会定例会(閉会)

13日 中泊町青少年問題協議会

17日 つがる広域連合議会第1回定例会

20日 五所川原地区消防事務組合議会
第2定例会

第2定例会

自治功労者表彰の伝達式

自治功労者表彰の伝達式が議場で3月2日(休)、第1回定例会の開会に先立って行われました。表彰された議員は次のとおりです

■青森県町村議会議長会表彰

野上 憲幸 議員(町議会議員35年以上在職)

兵庫 桂蔵 議員(町議会議員19年以上在職)

長利 司 議員(町議会議員19年以上在職)



伝達式の様子(左から野上憲幸議員・兵庫桂蔵議員・長利司議員)

編集後記

▼令和5年如月。中泊町教育文化賞・スポーツ賞授与式がパルナスで開催。受賞者の共通項は「継続力」にあると思う。心折れず、技を磨き続け、ひたすら鍛錬する、そうした時間を地道に紡いでいく過程があつてこそその成果であり、荣誉である。受賞者には更に研鑽を積み、中泊町での教育文化・スポーツを志す次世代への指導者になつてほしいと願う。

▼そして弥生。新生「こどもり学園」小泊中学校の卒業式。巣立つ希望と決意を胸に秘めた10人の卒業生。先輩と触れ合ったひと時を模索する在校生。そのコントラストが印象的であり、緊張感と清々しさを醸し出す。

▼退場行進中の出来事。突然卒業生が保護者の座する後列に横一で並ぶ。教職員との3年間の思い出のスピーチだ。一人ひとりが感涙を耐えつつもしっかりと口調で、恩師からの励ましや慰め、時には厳しくもあり、少し褒められたこと等の回想を切り取り披露した。

▼いつの時代もそうであるが、恩師との深い絆を感じつつ、目頭を熱くする一方、卯月から新しい環境での挑戦。「可能性を信じて頑張れ!」心の中で叫ぶ。

〈委員長・成田直人〉